

「ラウダート・シ」の取り組み

マリアの宣教師フランシスコ修道会

意識化を深めるために

★「Laudao Si' Sisters in JAPAN の取り組み紹介」について、アンケートを各共同体に配布し、話し合いました。

*どんなことに気づきましたか？

- ・環境問題が自分の奉獻生活や世界の正義と平和と繋がっているということに気づいた。
- ・社会の痛みを今の生活の中に感じ取っていないのではないかと気づいた。その意識を持ち共同体が一致し行動で実践できるようにしたい。
- ・フランシスカンとして、エコロジーの大切さをあらためて感じた。日常生活の中で、小さなことをコツコツと果たして行きたいと思っている。



*共同体ですでに行っていることは、何ですか？

- ・資源の再利用（古新聞、古紙、裏紙の使用など）
- ・ごみの分別とごみの減量（エコバックを常時持参する、洗剤などは詰め替え用を利用するなど）
- ・物を増やさない（買う前によく識別する、買い置きを少なくするなど）
- ・自然にやさしい製品の使用（アクリルたわし、合成洗剤ではなく石鹸を使用など）
- ・水や電気の節約



*これから、共同体でどのようなことに取り組もうとしているのですか？

- ・家族、友人、特に若い人々に、自然と共に生きる大切さを伝える
- ・環境問題についてのニュースを読み、関心を持つ。
- ・意見交換だけでなく共同体として実行可能なことを決め、継続的に実行し、評価する



★回勅「ラウダート・シ」を深めました。

*共同体で少しずつ読み進め、わかちあいました。

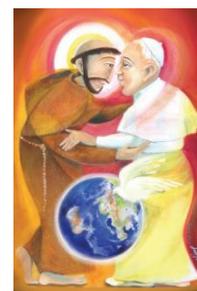
*フランシスコ会のデリック・ヤップ神父様（マレーシア・シンガポール・ブルネイ準管区）による「ラウダート・シ」のズームによるセッションに参加。

・FMM シンガポール/マレーシア、ミャンマー、オーストラリア、日本管区のシスター80名くらいが参加。

・4回シリーズで、1回のセッションは、約1時間の講話と30分のわかちあい。

感想：・フランシスカンとして、自分の生き方、また神、すべての造られたもの、そして自分との関わりを見直すことを今求められているように思われた。

・具体的な活動も大切だが、フランシスカンとして全被造物と共に生きる霊性を深めたいと思った。



各共同体での取り組み

*ゴミの分別

高齢者の多い共同体では、ごみ箱の色をかえてわかりやすいように工夫しています。

紙類（青） プラスチック（赤） 生ごみ（黄色）



*水や洗剤の節約のために：テーブルに古布を置き（1）、食器を拭き（2）空き袋に集めます（3）

（1）

（2）

（3）



*保育園のある共同体では、保育園の生ごみ（1）でEM液を作り（2）、土に埋めて（3）、お花や野菜畑を作り（4）、子どもたちにも喜ばれています。

（1）

（2）

（4）



（3）



将来に向けて

*フランススカンとして、神に創られたものすべてと共に生きる靈性を深めていきたいと願っています。師父聖フランシスコのように「わが主よ、あなたはたたえられますように！すべてのあなたの造られたものと共に」と、神を賛美できますように！